

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課水産しまね振興室長 三浦 順	電話番号	0852-22-5740
----------	-------------------	------	--------------

事務事業の名称	浜田地域水産業構造改革推進事業
目的	(1) 対象 沖合底びき網漁業者ならびにその構造改革を支援する浜田市
	(2) 意図 水産卸売業者や水産加工業者に魚を供給し、水産業を下支えしている沖合底びき網漁業が抱える共通課題の解決
事業概要	沖合底びき網漁業の構造改革を支援する浜田市を支援する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 沖合底びき網漁船のリシップ数	目標値		5.0	5.0			統
		取組目標値						
	式・定義 沖合底びき網漁船のリシップ累積統数	実績値	5.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 基幹漁業年間生産額	目標値	135.4	136.8	138.2	139.6	141.0	億円
		取組目標値						
	式・定義 基幹漁業（中型まき網漁業、沖合底びき網漁業、小型底びき網漁業、定置網漁業）生産金額	実績値	139.0					
		達成率	102.7	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	105,000	75,000
うち一般財源(千円)	105,000	75,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

H19年に浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト協議会を立ち上げ、浜田地域の基幹漁業の構造改革に着手し、H23年に沖底のリシップを柱とした改革計画書を中央協議会に提出、その認定を受け、H24年にリシップ工事をした1ヶ統がH25年4月から国の用船事業を開始した。また、H24年に、国の事業の対象とならない4ヶ統が構造改革に着手できるよう、市・県の事業を構築。H26年に2ヶ統、H27年にはさらに2ヶ統がリシップ工事をし事業を開始した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

H26年度に2ヶ統、H27年度にさらに2ヶ統がリシップ工事をし市・県事業を活用して構造改革に着手。これにより浜田を根拠とする5ヶ統全船が構造改革が着手した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
全船が構造改革に着手したが、計画どおりにコストの削減や付加価値の向上等の構造改革が進むかどうか分からない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
特に、付加価値の向上（漁獲物の鮮度向上）には、乗組員の意識改革や漁獲物処理の工程管理の徹底などが必要である程度の時間を要する。
- ③原因を解消するための「課題」
水産技術センター等による漁獲物の鮮度確認をはじめとする関係機関による取組の検証と改善が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係機関が協力して、リシップを行った漁業経営体を支援し、コスト削減や漁獲物の付加価値向上等の構造改革計画に基づいた取組の実証とさらなる改善を図っていく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。